

## 平成 30 年度 工賃向上計画書（通期）

事業所（施設）名	おおぐち工房 I				事業種別	就労継続 B		
平均工賃の推移	前々年度（平成 28 年度）実績				前年度（平成 29 年度）実績			
	期	上半期	下半期	通期	期	上半期	下半期	通期
	月額	9,507	9,885	9,696	月額	10,468	11,952	11,210
	時間額	112	120	116	時間額	124	144	134
平均工賃の目標	今年度（平成 30 年度）目標				平成 30 年度以降の目標			
	期	上半期	下半期	通期	期	H 31 年	H 32 年	H 33 年
	月額	10,801	12,175	11,488	月額	11,576	11,661	11,745
	時間額	128	145	136	時間額	137	138	139
前々年度と比較した前年度の工賃支給状況	支払総額		(○) 増加傾向 ( ) 横ばい傾向 ( ) 減少傾向					
	延べ工賃支払対象者数		( ) 増加傾向 ( ) 横ばい傾向 (○) 減少傾向					
	延べ勤務時間数		( ) 増加傾向 ( ) 横ばい傾向 (○) 減少傾向					
	平均工賃	月額	(○) 増加傾向 ( ) 横ばい傾向 ( ) 減少傾向					
		時間額	(○) 増加傾向 ( ) 横ばい傾向 ( ) 減少傾向					
前年度の作業種目及び収入実績	作業種目	前年度収入額	割合	傾向				
	受託加工	1,559 千円	16 %					
	自主製造・販売	7,925 千円	79 %					
	仕入・販売	0 千円	0 %					
	飲食	330 千円	3 %					
	サービス	0 千円	0 %					
	役務（清掃等）	0 千円	0 %					
	他（ ）	204 千円	2 %					
	合計	10,018 千円	100 %					
前年度に工賃向上に効果があった具体的な事項	内職の作業を切らさないようスケジュールを組んだ。 新製品を毎月提供した。 原価を見直し必要な商品は値段を上げた。							
工賃向上のためにクリアしなければならない課題事項（複数回答可）	( ) 販売品に魅力がない ( ) 販売品種が少ない (○) 販売先が限られている ( ) 立地条件が悪い (○) 受注単価が安い ( ) 多量の注文が受けられない ( ) 他事業所とのネットワークがない ( ) 職員の作業負荷増大 ( ) 利用者の作業負荷増大 ( ) 職員のコンセンサス (○) 利用者特性 ( ) その他 ( )							
工賃向上のために優先的にクリアしなければならない課題の具体的な内容と対応策	材料費高沸な為原価計算の見直し 安定した仕事の新たな受注 既存の商品の原価に対する価格の見直し							
今年度計画している改善策（複数回答可）	(○) 品質の向上 ( ) 販路開拓 (○) 新商品開発 ( ) 他事業所とのネットワーク化 ( ) 内部努力 ( ) 作業種目の見直し ( ) 職員の意識啓発 ( ) 神奈川県工賃向上支援事業への積極的な参加 ( ) その他 ( )							
今年度計画している改善策の具体的な内容	内職において利用者ができる作業の増加。 保存が効く商品の研究、作成。 毎月季節のパン、新作パンの作成。 新人の通所者も作れるパンの作成。 原価の見直し							